

○ 令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業に係る効果検証（令和2年度完了事業）

No	交付対象事業の名称	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	事業効果（実績）	担当係
1	特別定額給付金等給付事業新型コロナウイルス感染症対策生活支援金	①新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、町民が必要とするマスク、個人防護具及び衛生用品等の購入費用に充てるための費用を支給する。 ②新型コロナウイルス感染症対策生活支援金として町民に支給 ③7,139名×1万円 ④令和2年4月27日において、立科町に住所を有する者	R2.5.25	R2.9.3	71,390,000	71,390,000	対象世帯へ迅速な給付を行い、コロナ禍で影響を受けている世帯の経済的な負担軽減を図ることができた。	財政係 ☎ 88-8401
2	子育て世帯への臨時特別給付金等給付事業立科町新型コロナウイルス感染症対策子育て世帯支援金	①新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、子育て世帯に対して、臨時特別な給付措置として支給する。 ②新型コロナウイルス感染症対策子育て世帯支援金として子育て世帯に支給 ③496世帯×2万円 ④令和2年4月27日において、立科町に住所を有し、対象児童等が1名以上属する世帯	R2.5.12	R2.6.10	9,920,000	9,920,000	新型コロナウイルス感染症による影響を特に受けている子育て世帯へ早急に支給することで、経済的な負担軽減を図ることができた。496世帯へ支給。	子育て支援係 ☎ 88-8405
3	県・市町村連携新型コロナウイルス拡大防止協力企業等特別支援事業	①②長野県と市町村が連携して実施する、休業要請に応じた事業所に対する協力金等給付事業への市町村協力金（1事業所当たり県20万円・市町村10万円の計30万円を給付） ③68事業所×10万円（市町村協力金分） ④長野県（事業者へは県から給付）	R2.5.1	R2.10.14	6,800,000	6,800,000	事業者支援と休業要請の徹底を同時に進める事業であった。給付件数68件という数字から、町内大半の飲食・宿泊事業者を支援できた。	観光商工係 ☎ 88-8412
4	立科町新型コロナウイルス対策支援金	①新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、直近3か月間の売上げが前年同期と比較して15%以上減少した事業者に対して支援金を支給 ②支援金 ③154事業者×10万円 ④令和2年5月1日時点で町内に事業所を有する事業者	R2.5.1	R3.2.24	16,200,000	16,200,000	当初300事業者を見積もったが、最終的に162者の申請・給付となった。現金給付により支援の効果は高かったと感じる。町内で倒産・廃業の連絡が無く、その一助になった。	観光商工係 ☎ 88-8412
5	立科町地域公共交通活性化協議会活動補助金（感染症拡大防止対策運行支援金）	①新型コロナウイルスの影響により利用者が減少している立科町地域公共交通活性化協議会参画の公共交通事業者に対し、運行支援及び感染症拡大防止対策実施のための金銭的支援を行うことで、地域公共交通網を維持することを目的とする。 ②運行継続支援金（基本額）+感染症拡大防止対策金 立科町地域公共交通活性化協議会への補助金として町から交付する。 ③積算根拠 ○バス事業者 30万円×11台（4社の車両合計数）=3,300千円 ※立科町乗入路線に使用する車両台数 ○タクシー事業者 （30万円（基本額）+5万円×4台（車両数））×2社=1,000千円 ④立科町地域公共交通活性化協議会に参画し、町内に事業所を有する又は、町内での運行及び当町に乘入れのある路線等の運行を行っている公共交通事業者（バス事業者：4社、タクシー事業者：2社）	R2.8.27	R2.9.16	4,300,000	4,300,000	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたバス事業者、タクシー事業者に対して、町独自の給付金を交付することで、事業者の事業継続の支援をすることができた。	企画情報係 ☎ 88-8403

6	こども弁当補助券事業	<p>①大きな消費の落ち込みの影響を受けている飲食店の事業継続支援及び休校の影響を受けた家庭の支援</p> <p>②こども弁当補助券（300円券×10枚綴=3,000円分）を小中学生450人へ交付する。</p> <p>③補助券換金：3,467枚×300円=1,040千円 補助券印刷・デザイン代等：27千円 合計：1,067千円 うち、533千円（≒1/2）は県補助金を充当 補助残の534千円が交付対象経費</p> <p>④令和2年4月1日現在で町内に在住する小・中学生</p>	R2. 4. 23	R2. 6. 30	1,067,000	534,000	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により小中学校の休校が増えており、給食の提供が停止して子どもの昼食について困っていた家庭が多かったため、本事業で各家庭の経済的支援ができた。御礼・喜びの声も届けられ、実際に支援につながった。</p>	観光商工係 ☎ 88-8412
7	飲食店利用補助券事業	<p>①大きな消費の落ち込みの影響を受けている飲食店の利用を促し、事業継続を支援</p> <p>②飲食店利用補助券（500円券×2枚=1,000円分）を全町民7,154人へ交付する事業に補助。</p> <p>③補助券換金：5,975枚×1,000円=5,975千円 補助券印刷・デザイン代等：145千円 合計：6,120千円 うち、3,060千円（≒1/2）は県補助金を充当 補助残の3,060千円が交付対象経費</p> <p>④立科町商工会</p>	R2. 5. 1	R2. 7. 31	6,120,000	3,060,000	<p>新型コロナウイルス流行初期に実施した事業のため外出控えが強く、期待した利用率には届かなかったが、飲食店からは好評の声を何件もいただいた。飲食店に特化した支援事業ではあったが支援の効果があつたと考える。</p>	観光商工係 ☎ 88-8412
8	長野県民限定 555GO!STAY信州inたてしな	<p>①大きな消費の落ち込みの影響を受けている飲食店及び宿泊業者の事業継続の支援</p> <p>②長野県民（1グループ最大6名）が立科町に宿泊する場合に、宿泊3,000円分、飲食1,000円分、レジャー・お土産1,000円分の割引券を交付する事業に補助</p> <p>③割引券換金：4,600人×5,000円=23,000千円 うち、対象経費21,322千円 広告宣伝費、郵送料等：1,491千円 合計：22,813千円 うち、11,406千円（≒1/2）は県補助金を充当 補助残の11,407千円が交付対象経費</p> <p>④立科町商工会、観光協会</p>	R2. 5. 1	R2. 11. 16	23,849,000	12,443,000	<p>当町南部では観光産業が盛んであるが、観光産業を営む事業者は新型コロナウイルス感染症により極めて大きな影響を受けていたため、本事業にて消費者の費用を補助することにより観光事業者を支援することができた。</p>	観光商工係 ☎ 88-8412
9	たてしなプレミアム商品券発行业業	<p>①町内全事業者の事業継続の支援による活性化</p> <p>②プレミアム商品券6,500円分（500円券×13枚綴）を5,000円で販売する事業に補助</p> <p>③プレミアム分1,500円×14,980冊=22,470千円 商品券作成印刷費：2,200千円 ポスター・チラシ作製印刷費：305千円 事務費（振込手数料・郵送料等）：84千円 合計：24,996千円 うち、8,531千円（≒1/2）は県補助金を充当 補助残の16,465千円が交付対象経費</p> <p>④立科町商工会、観光協会</p>	R2. 8. 11	R3. 3. 31	25,172,500	16,465,000	<p>プレミアムの付いた商品券の発行・販売により新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ町内経済の活性化につながることができた。完売に加え、換金率が99%を超えた点から考察しても、事業を行った意味は強いと考える。</p>	観光商工係 ☎ 88-8412
10	555GO!STAY信州inたてしな2nd	<p>①町内宿泊業・飲食業の経営支援による事業の継続と活性化のため、国のGo toキャンペーンに相乗りし、相乗効果を図る。現に立科町を訪れているスキー客を起点にスキー関連付帯産業の経済効果を創出する。</p> <p>②Go toキャンペーン対象46道府県（1グループ最大6名）が立科町に宿泊する場合に、宿泊券（5千円）、飲食・レジャー・土産券（1千円×3枚）を3千円でコンビニエンスストアで販売し、購入者が宿泊・飲食・レジャー・土産店の精算に使用する事業に補助。</p> <p>さらに、GOTO 信州立科町冬満喫クーポンとして、スキー場のリフト券購入者に、券種に応じ共通クーポン（飲食・レジャー・土産に利用可）を交付する事業に補助。</p> <p>③ クーポン（精算） 27,500千円、 宣伝・Web構築・印刷・決済手数料2,500千円 合計：30,000千円</p> <p>④観光協会</p>	R2. 12. 14	R3. 3. 17	29,000,000	29,000,000	<p>事業番号8番の事業が好評だったため、第2弾を実施した。前は春～秋間のグリーンシーズンのみの支援であったが、今回は冬のホワイトシーズンに新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者を支援できた。消費者からも事業者からも非常に好評であり、支援の効果は大きかった。</p>	観光商工係 ☎ 88-8412

11	キャッシュレス決済普及推進事業	<p>①感染症対策及び多様な決済手段の導入による町内事業者の活性化を図る。加えて、町独自にポイント付与を行い、キャッシュレス決済の普及促進と消費喚起を図る。</p> <p>②町内事業者の補助対象端末（スマホ決済システム機器、バーコードデータコレクタ等）の導入及び町内店舗でのキャッシュレス決済利用時に利用者に20%分のポイントを還元する事業へ補助。</p> <p>③キャッシュレス対応機器購入費の定額補助（上限：100千円） 71件＝6,060千円 キャッシュレス決済利用者への20%分ポイント還元（予定期間：1ヶ月間）＝2,477千円 キャンペーンチラシ等販促費：299千円 諸経費（振込手数料等）：70千円</p> <p>④立科町商工会</p>	R2. 8. 11	R3. 3. 26	8,836,429	8,836,429	<p>本事業によりキャッシュレス対応機器を導入した事業者数は71者であった。これは町内総事業者数約400者に対して非常に高い数字であり、コロナ禍における感染対策とキャッシュレス化を進められた。消費者・事業者両者から好評であった。</p>	観光商工係 ☎ 88-8412
12	避難所等衛生環境整備事業	<p>①感染症対策として、避難所の衛生環境を保つため、簡易エアシャワーや感染症防護服を避難所又は連携する福祉施設等に備蓄する。</p> <p>②簡易エアシャワー、感染症防護服の購入費</p> <p>③簡易エアシャワー 3台 1,705千円 感染症防護服キット（防護服700着、プラスチックエプロン155箱、フェイスシールド3,800枚、プラスチック手袋38箱） 3,017千円</p> <p>④避難所、福祉施設等</p>	R2. 8. 28	R2. 11. 30	4,721,750	4,721,750	<p>新型コロナウイルス感染症拡大により、新たに避難所等で感染拡大防止対応として衛生用品等が必要となっており、これらを備蓄することで感染拡大防止策が図られ、避難所の開設準備を図ることができた。</p>	高齢者支援係 ☎ 88-8406
13	公立学校情報機器整備費補助金（単独分）	<p>①災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用により全ての子どもたちの学びの場を保障する環境を整備するため。</p> <p>②児童生徒用タブレット端末1人1台整備に係る経費</p> <p>③必要額 74,000千円 内訳 ・「3人に1台分」のうち未整備分 単価 153千円×178台＝27,234千円 ・「3人に2台分」について国からの定額補助（45千円/台）への上乗せ分 単価 108千円×302台＝32,616千円 ・その他端末等に関する経費 電子黒板 350千円×29台＝10,150千円 充電保管庫 200千円×20台＝ 4,000千円</p> <p>④町内小中学校</p>	R2. 10. 27	R3. 2. 26	74,373,260	61,658,980	<p>小中学校各1校へ児童生徒一人1台のタブレット端末等を整備し、緊急時における学習を保障する環境を整備することができた。</p> <p>タブレット端末 小学校 300台 中学校 180台 電子黒板 小学校 15台 中学校 14台 充電保管庫 小学校 13台 中学校 7台</p>	学校教育係 ☎ 88-8415
14	図書室蔵書検索システム構築事業	<p>①感染症対策として、図書室に出かけずに、インターネット上で立科町図書室の蔵書を検索することができるようにすることで接触を減らすことができる。</p> <p>②図書室の蔵書システムをインターネット上に公開するためのシステム構築経費とシステム使用料</p> <p>③委託料(システム構築費)594千円、使用料 82千円</p> <p>④地方公共団体</p>	R2. 11. 1	R3. 3. 31	676,500	676,000	<p>感染症対策として、図書室に出かけずにインターネット上で当町の図書室の蔵書を検索することができるシステムを整備したことにより、接触を減らすことができ、感染拡大防止が図られた。</p>	教育委員会（中央公民館）
15	区及び部落等の集会等に対する新型コロナウイルス感染症拡大防止対策補助金	<p>①区及び部落内の各種集会等における、新型コロナウイルス感染症拡大防止目的で購入する備品、消耗品（※品目を指定）の経費に対する補助を行い、地域の安心・円滑な活動を支援する。</p> <p>②仕切り板、消毒液等</p> <p>③上限100千円×23分館（区及び部落数）</p> <p>④区及び部落・・23分館</p>	R3. 1. 8	R3. 2. 17	1,683,597	1,683,597	<p>地域の公民館等は集会施設の役割のほか、災害時の避難所としての役割もあり、これらの施設には感染拡大防止対応として新たに消毒液や衛生用品が必要となり、これらの経費を補助することで感染拡大防止対策が図られた。</p>	教育委員会（中央公民館）

16	新型コロナウイルス感染症避難所対策事業	<p>①避難所の衛生衛生環境を保つため、パーテーション等により密を回避するとともに、消毒液等を避難所に備蓄する。</p> <p>②消毒液、パーテーション等の購入、防災倉庫の設置。</p> <p>③マスク20,200枚 631千円 アルコール消毒液12箱 164千円 消毒用ポンプボトル10個 20千円 非接触式体温計30個 136千円 フェイスシールド 400個 104千円 ブルーシート 50枚 81千円 ダンボールベッド(仕切付き) 50組 638千円 ダンボールベッド(介護用) 50組 495千円 ダンボールベッド用マット 2箱(60枚入) 176千円 避難所用パーテーション 150張 4,043千円 飛沫防止ついで 50台 308千円 顔認証温度検知システム 3台 708千円 収納用ラック 1台 30千円 防災備蓄倉庫 2棟 4,171千円 庁舎南側倉庫改修費(設計監理含む) 4,345千円</p> <p>④地方公共団体</p>	R2. 4. 17	R3. 2. 25	16,049,136	16,049,136	<p>コロナ禍による避難場所での感染拡大防止対策を図るうえで必要となる備品の備蓄、備蓄品増加に伴う倉庫の改修及び新設を実施したことで災害時の避難所開設に向けた準備が図られた。また、実際に避難所を開設時に消毒液や非接触式体温計を活用し、避難所運営に努めることができた。</p>	<p>庶務係 ☎ 56-2311</p>
17	立科町出身学生への農産物支援事業	<p>①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため県外の居住地にとどまっている学生に、町の農産物を送り生活を支援する。</p> <p>②町の農産物(リンゴジュース、お米)購入費、郵送費</p> <p>③購入費291千円 郵送費118千円</p> <p>④県外に居住する町内学生出身者(18歳以上)</p>	R2. 5. 16	R2. 10. 21	408,850	408,850	<p>立科町出身の学生に立科町の農産物を贈ることで、学生生活を支援をすることができた。実績120件。</p>	<p>農林係 ☎ 88-8408</p>
18	公立学校情報機器整備費補助金	<p>(学校からの遠隔学習機能の強化事業)</p> <p>①災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用により全ての子どもたちの学びの場を保障する環境を整備するため。</p> <p>②遠隔学習を行うために使用する設備(動画配信用ウェブカメラ)</p> <p>③17,500円×4台=70千円</p> <p>④町内小中学校</p>	R2. 10. 27	R3. 2. 26	131,780	35,000	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、学校が臨時休校等になった場合の学習を保障する環境を整備することができた。 カメラ 小学校 2台 中学校 2台</p>	<p>学校教育係 ☎ 88-8415</p>
19	修学旅行中止に伴う費用補助事業	<p>①新型コロナウイルス感染症拡大の影響で修学旅行が中止となり発生した保護者負担費用への支援</p> <p>②旅行業者へ支払うキャンセル代</p> <p>③8月24日～26日京都、奈良方面キャンセル 1人 6千円×46名=276千円</p> <p>④中学校3学年 46名</p>	R2. 9. 2	R2. 9. 23	279,939	276,000	<p>修学旅行が中止となり発生した旅行業者へのキャンセル料を町が負担し、保護者の負担軽減を図ることができた。</p>	<p>学校教育係 ☎ 88-8415</p>
20	公立学校情報機器整備費補助金(単独分)	<p>①災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用により全ての子どもたちの学びの場を保障する環境を整備するため。</p> <p>②遠隔学習を行うために使用する設備</p> <p>③必要額 891千円 内訳 ・カメラ 64,255円×7台=450千円 ・三脚 49,001円×9台=441千円</p> <p>④町内小中学校</p>	R2. 10. 27	R3. 2. 26	854,260	854,260	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、学校が臨時休校等になった場合の学習を保障する環境を整備することができた。 カメラ 小学校 5台 中学校 2台 三脚 小学校 6台 中学校 3台</p>	<p>学校教育係 ☎ 88-8415</p>

21	公立学校環境改善事業	<p>①安心・安全な学校生活に資する新型コロナウイルス感染症予防対策として、手洗い所を増設及び改修し、児童生徒がこまめに手洗いを励行できる環境を整えるため。</p> <p>②設計監理費、手洗い所増設改修工事費</p> <p>③小学校</p> <p>ア 手洗い所増設工事費（2箇所）1,617千円 全槽式シンク6台・蛇口18個・給排水管仮敷設（学校再開後で急を要するため、仮設工事とする。）</p> <p>イ 手洗い所改修工事費（3箇所）7,744千円 （内訳 設計監理費594千円、工事費7,150千円） 増設手洗い所（上記ア2箇所） シンク移設（3台）、給排水管敷設（2箇所） 石油給湯器設置2台×2箇所 既設手洗い所（1箇所） 石油給湯器設置2台×1箇所</p> <p>中学校 手洗い所増設工事費（1箇所）220千円 内容 全槽式シンク1台・蛇口3個・給排水管接続</p> <p>④立科町立立科小学校、立科町立立科中学校</p>	R2. 9. 23	R3. 2. 22	7,744,000	7,744,000	手洗い所増設により、児童生徒がこまめに手洗いができるようになり、感染症予防対策に資することができた。	学校教育係 ☎ 88-8415
22	学校保健特別対策事業費補助金	<p>（感染症対策のためのマスク等購入支援事業）</p> <p>①学校再開等にあたり、集団感染のリスクを避けるため、学校で必要な保健衛生用品を整備し、児童・生徒が安心して学ぶことができる環境を整える。</p> <p>②マスク・消毒液・体温計等の購入</p> <p>③補助対象経費 児童生徒数437名×340円＝148千円</p> <p>④町内小中学校</p>	R2. 6. 4	R3. 1. 4	176,998	74,000	感染症対策の衛生用品を購入することで、安心して授業を再開することができた。	学校教育係 ☎ 88-8415
23	学校保健特別対策事業費補助金	<p>（学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業）</p> <p>①感染症対策を徹底し感染リスクを最小限にしながら学校を再開し、児童・生徒の学びの保障と十分な教育活動を継続する。</p> <p>②小中学校の水道蛇口を自動水栓やレバー式に交換するための購入費</p> <p>③補助対象経費 小学校 自動水栓6台、レバーハンドル159個 645千円 中学校 自動水栓1台、自在水栓1台、レバーハンドル127個 583千円 うち、1千円は一般財源を充当</p> <p>④町内小中学校</p>	R2. 12. 1	R3. 1. 29	1,210,000	605,000	感染リスクを最小限に抑え、安心して学校を再開することができた。	学校教育係 ☎ 88-8415
24	学校臨時休業対策費補助金	<p>①感染症対策に係る学校の臨時休業に伴う学校給食の中止により保護者が負担するべき経費を学校設置者が負担することにより、保護者の負担軽減を図る。</p> <p>②学校給食食材購入キャンセルに係る違約金</p> <p>③補助対象経費 小学校 牛乳・パン・めん 112,651円 中学校 牛乳・パン・めん 64,337円 合計 176,988円</p> <p>④町内小中学校</p>	R2. 4. 1	R2. 7. 1	176,998	44,998	急な学校の臨時休校により発生した給食食材購入に係るキャンセル料を学校設置者である町が負担し、保護者の負担軽減を図ることができた。	学校教育係 ☎ 88-8415
合計					311,141,997	273,780,000		